



2024年2月14日

各位

会社名 株式会社 やまみ  
代表者名 代表取締役社長 山名 徹  
(コード: 2820 東証スタンダード市場)  
問合せ先 管理本部長 六車 祐介  
電話番号 (0848-86-3788)

2024年6月期第2四半期(累計)業績予想と実績値との差異および通期業績予想ならびに  
剰余金の配当(中間配当)及び期末配当予想の上方修正に関するお知らせ

2023年8月9日に公表しました2024年6月期第2四半期(累計)業績予想と本日公表の実績値において、下記のとおり差異が生じたのでお知らせいたします。

また、本日開催の取締役会において、最近の業績動向を踏まえ、2024年6月期通期の業績予想ならびに剰余金の配当(中間配当)及び期末配当予想の修正を下記のとおり決議いたしましたので、お知らせいたします。

## 記

### 1. 2024年6月期第2四半期(累計)業績予想と実績値との差異(2023年7月1日~2023年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	百万円 8,900	百万円 600	百万円 601	百万円 408	円 銭 58.56
今回の実績値(B)	9,571	1,274	1,274	893	128.26
増減額(B-A)	671	674	673	485	69.7
増減率(%)	7.5	112.3	112.0	118.9	118.9
(ご参考) 前年同期実績 (2023年6月期第2四半期)	7,838	504	521	352	50.62

### 2. 差異の理由

売上高につきましては、価格改定が浸透してきたことに加え、国内産大豆を使用した製品のセールスを強化し、販売数量も伸長したことにより、前回発表予想を上回りました。また、原材料価格や光熱費の高

止まりは継続しておりますが、富士山麓工場の稼働率が向上し黒字化したことで、収益性が大幅に改善し、営業利益、経常利益、四半期純利益は、それぞれ前回発表予想を上回りました。

### 3. 2024年6月期通期業績予想の修正

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 17,800	百万円 1,200	百万円 1,202	百万円 815	円 銭 116.98
今回修正予想 (B)	19,000	2,000	2,002	1,337	191.89
増減額 (B-A)	1,200	800	800	522	74.91
増減率 (%)	6.7	66.7	66.6	64.0	64.0
(ご参考) 前年同期実績 (2023年6月期)	16,178	1,039	1,061	802	115.18

### 4. 通期業績予想修正の理由

前回予想を公表した2023年8月9日時点においては、材料費はさらに高騰し、光熱費も高止まりすると  
の前提で、通期業績予想を策定いたしました。

当社の取組みとしてお願いしていた価格改定が浸透してきたことに加え、国内産大豆を使用した製品の  
セールスを強化し価格改定を行った後でも販売数量が伸びたことで、富士山麓工場が黒字化し、収益性が  
大幅に改善したことから、売上高、営業利益、経常利益、当期純利益の通期業績予想を見直しすることと  
いたしました。

なお、上記の予想は、現時点で入手可能な情報および合理的であると判断される一定の前提に基づくも  
のであり、実際の業績は今後の様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

### 5. 剰余金の配当 (中間配当)

	決 定 額	直近の配当予想 (2023年8月9日公表)	前年同期実績 (2023年6月第2四半期)
基 準 日	2023年12月31日	同 左	2022年12月31日
1株当たり配当金	19円00銭 (記念配当1円00銭)	19円00銭 (記念配当1円00銭)	14円00銭
配当金総額	132,376千円	—	97,542千円
効力発生日	2024年3月8日	—	2023年3月8日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

## 6. 期末配当予想の修正

	1株当たり配当金		
	第2四半期末	期 末	合 計
前回発表予想	—	19 円 00 銭	38 円 00 銭
今回修正予想	—	41 円 00 銭 (記念配当 1 円 00 銭)	60 円 00 銭 (記念配当 2 円 00 銭)
当 期 実 績	19 円 00 銭 (記念配当 1 円 00 銭)	—	—
(前期実績) 2023年 6 月期	14 円 00 銭	18 円 00 銭	32 円 00 銭

## 7. 期末配当予想修正の理由

当社は株主への利益還元を経営上の最重要課題と位置付け、設備投資等将来にわたって企業価値を高める資金を勘案しながら、配当性向 30%以上または下限として DOE（株主資本配当率）2.5%を目途に、継続的かつ安定的な配当を行うことを基本方針としております。今回、上記方針に基づき、通期の当期純利益予想を上方修正することに伴い、当期の期末配当予想を従来予想 19 円に 22 円上乗せした 41 円とし、年間配当予想を 38 円から 60 円（うち記念配当 2 円（中間・期末各 1 円））に修正することにいたしました。

以 上